



初挑戦 山口県高等学校総合文化祭



6月14日(土)に下関市で開催されました「山口県高等学校総合文化祭」の日本音楽・郷土芸能・吟詠剣詩舞部門発表大会に、坂上分校神楽クラブが初出場いたしました。会場は、菊川ふれあい会館(アブニール)で行われました。当日は、県内各地の多くの学校から参加がありました。多数の箏曲、源平音頭、創作太鼓、吟詠剣詩舞など、どこも素晴らしい発表となりました。中でも坂上分校の神楽は注目度も高く、会場では一番の盛り上がりを見せました。神楽の魅力を発信することが出来ました。

【大会前日・当日演舞前】 会場の様子をイメージし、直前まで準備に余念がありませんでした



【大会当日演舞】 練習の成果を発揮できるよう、真剣に最高の演舞をしました



【演舞を振り返って】 達成感、充実感がひとしおでした

閉会式の中で、エリザベト音楽大学講師の安藤玄人先生から、全体を通してのご講評をいただきました。「中でも、坂上分校の神楽クラブの演舞は、とても素晴らしかったです。また、次も是非機会があれば観てみたいです。」という、とても自信が深まる、お褒めのお言葉を頂きました。

神楽クラブのメンバーへ、インタビュー



Question 「神楽クラブの魅力は何ですか？」

Answer (要旨) ※写真は、左から佐伯さん、松本さん、墨川さん
◇ 佐伯 藍さん(3年生)

「神楽クラブの魅力は、いろいろな方、地域の方たちと会って、伝統的なことを一緒に創り上げるところに、魅力があると思います。」
(裏面もご覧ください)

◇ 松本 桃奈さん（3年生）

「坂校生が、昔ながらの伝統を引き継げる、そういうところに魅力を感じています。」



◇ 墨川 美凧さん（3年生）

「1, 2, 3年生でコミュニケーションを取りながら、神楽を創り上げるので、コミユカなどが、あがる場所も魅力だと思います。」

（裏面もご覧ください）



上級学校見学(広島工業大学・広島情報 ビジネス専門学校・広島コンピュータ専門学校)



6月25日（水）に、全校生徒で、上級学校見学に行きました。自分たちの目で施設の充実度や学校での授業を体験する貴重な機会となりました。また、自身の将来に思いを馳せ、これから進むべき道を、ワクワク感をもって描いた人もいたことでしょう。いろいろな刺激があったと思います。

「社会の一員として、社会貢献をしながら、自己実現をする」という熱い思いや、「自分の目標が明確な者は、必ずいい仕事（学習）をする」という目標の大切さ等も、よく言われます。今日の学校見学を、よき契機として、今後の進路選択にぜひ生かし、自分自身を大きく建設していきましょう。



春夏秋冬 vol.4

気づくこと、発見すること・・・

前任校から坂上分校に赴任してきて、最初に特に感じたことは、校舎に入ったときの、床から伝わる感

触でした。足の裏に受ける感覚が、かなり違って、とても柔らかい感じを受けました。理由は明白、廊下や教室の床が、板張りだったことです。木目の色合いも明るく、優しい感じがしました。

一方、外に目を向けると、学校周辺も非常に自然豊かで、田園風景がとても美しいのが印象的でした。毎日、通勤時に車で通るのですが、気候や季節、また時間帯によって、見える感じが異なるのが分かります。

自分が学生の頃、よく読んでいた漫画に、「ハートカクテル」という、綺麗なタッチで描かれた短編漫画がありました。その作者である、わたせせいぞう氏が、以前、取材の際、印象的なことを言われていたのをふと思い出しました。「自然界には、約2,000種類の緑色が存在する・・・」

またオランダの有名な画家であったゴッホも、周囲の者によく、芸術家らしい次のような言葉を言っていたそうです。ゴッホ曰く『美しい景色ばかりをさがすのではなく、目の前の景色の中に、美しいところをさがすのです』と。

これらの視点は、私たちに、いろいろなことを示唆してくれそうです。普段の生活を振り返る時、日々、似たような繰り返しに思えてしまうことも多々あるでしょう。しかし、意識して、新しい視点で、とらえれば、もしかして今まで気づかなかったことや、何か発見があるかもしれません。生活景色が、今よりも、もっともっと、色鮮やかに、生き生きとしてくるかも・・・ そんな気がします。親愛なる坂校生のみなさんは、これから、どんな美しいところ、素晴らしいものを発見していきますか？

